

(要旨)

妊娠中の COVID-19 ワクチン接種と SARS-CoV-2 感染転帰に関する住民レベルのデータは不足している。本稿では、全国規模の前向きコホートからの全住民データを用いて、スコットランドでの妊婦の COVID-19 ワクチン接種と SARS-CoV-2 感染について調査した COPS 研究^Aの結果を報告する。スコットランドで COVID-19 ワクチンプログラムが開始された 2020 年 12 月 8 日から 2021 年 10 月 31 日までに、18,457 人^Bの妊婦に対して 25,917 回の COVID-19 ワクチン接種が行われた。妊婦のワクチン接種率は 18~44 歳の一般女性集団に比べて大幅に低く、2 回接種を受けたのは 18~44 歳の全女性で 77.4%であったのに対し、2021 年 10 月に出産した女性では 32.3%であった。COVID-19 の診断後 28 日以内に出産した女性での拡大周産期死亡^C率は、出産 1,000 あたり 22.6 (95%CI[12.9~38.5])であった。一方、パンデミック期のバックグラウンド拡大周産期死亡率は、出産 1,000 あたり 5.6(95%CI[5.1~6.2];452/80,456)であった。全体として、SARS-CoV-2 感染例の 77.4%(95%CI[76.2~78.6]; 3,833/4,950), SARS-CoV-2 関連の入院例の 90.9%(95%CI[88.7~92.7];748/823), SARS-CoV-2 関連の緊急治療室入室の 98%(95%CI[92.5~99.7];102/104), ならびに妊娠中の SARS-CoV-2 感染に続く周産期死亡はすべて、COVID-19 診断時にワクチン未接種であった妊婦で発生した。現在進行中のパンデミックにおいて、妊婦と胎児・新生児の健康を守るために、妊婦のワクチン接種率が低いことへの対策が急務である。

^A The COVID-19 in Pregnancy in Scotland (COPS) study. EAVE II (Early Pandemic Evaluation and Enhanced Surveillance of COVID-19)試験のサブスタディ。

^B 本文“Results”および Fig. 2 では 18,399 である。

^C extended perinatal mortality: 妊娠 24 週以降の死産と生後 28 日以内の新生児死亡の合計